

森林環境譲与税に関する決算状況一覧

市町村名	事業区分	事業名	事業費総額（千円）			事業内容	実績	事業効果 税導入の効果（総括）
			内当該年度の森林環境譲与税（千円）	内基金取り崩額（千円）	内他の財源（千円）			
大口町	木造公共建築物の整備等	西保育園増改築事業	76,450	1,178	0	75,272	町立西保育園増改築工事のうち次世代林業基盤づくり事業対象の保育室棟と回廊棟と合わせて園児の増員に合わせるため調理室棟を増築。この調理室棟は町単独事業である。なお、令和2年度へ繰越明許を設定し実施した。	保育園の木質化 【ワンフレーズ】 公共施設の木造化で補助対象事業から外れた施設に対しても財源として活用することができた。 【詳細】 西保育園増改築事業は、回廊棟、保育室棟及び調理室棟の3つの棟から成り立っている。回廊棟と保育室棟は、次世代林業基盤づくり事業で採択され、補助金の交付を受けたが、調理室棟は、補助対象外施設であることから、すべてを一般財源で賄わなければならなかったが、森林環境譲与税を充当することができた。今後は、この森林環境譲与税が公共施設の木造化の財源の1つとして活用していく。

大口町では、公共施設の新改築に当たっては公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律(平成22年法律第36号)を受けて、当町も平成26年4月1日に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針」を施行した。

- ▶ 町内に本社を置くタイム技研(株)が所有する里山の間伐材を活用することにし、その決め手の一つに市場において材料を調達する「木造」ではなく、材料の調達において「協働のまちづくりの精神」を具現化することで、まちづくり基本条例の根幹をなす、行政の担い手「住民・企業・行政」が協働して「公共施設建設」を目指す取り組みである。
- ▶ 子ども達に木質の持つ良さを知ってもらうために各保育園での木育事業の実施。

□ 事業内容

1 公共施設の木造化事業

- 平成27・28年度に実施した木造建築物町立北保育園(延床面積2,148㎡)に続き令和元年度に町立西保育園の公共施設の木造化

【事業費】257,945千円（うち補助金26,328千円）

【実績】木材使用量 188.35㎡

2 保育園での木育事業

- 「木に触れる 木で遊ぶ 木で作る」をテーマに町立3保育園では園児を対象に木育事業を実施。間伐材の伐採見学、木材の搬出体験やマイ箸づくり、木の皮、葉っぱを使った工作、木の積木づくりなどを実施。

【実績】平成27年度から年長クラスが岐阜県関市の山里で伐採見学や木材搬出を体験し、年中クラスはマイ箸づくりを毎年実施し、その作ったマイ箸を翌年、年長クラスで1年間給食で使用。



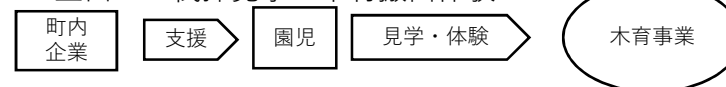
（事業1：伐採見学）



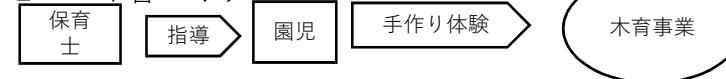
（事業2：マイ箸づくり）

□ 事業スキーム

1 里山での伐採見学と木材搬出体験



2 マイ箸づくり



□ 工夫・留意した点

- 1の体験では、町立3園の年長クラス約130名を関の里山で、目の前で高さ30mの間伐材を伐採することで、材木になる前の木材を知ってもらうことに重点を置いた。
- 2の箸づくりは、材木が身近なもので、子ども達でも手を加えれば箸ができることを体験して、木の多様性を会得する。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	1,178千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※2）	0%
④人口（※3）	24,299人
⑤林業就業者数（※4）	0人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より